プロスポーツ
静岡競輪
号外版
PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

超豪華メンバーによるV争い

静岡競輪場開設69周年記念「たちあおい賞争奪戦」は、2月3日～6日の日程で開催される。今シリーズは郡司浩平、平原康多、清水裕友、佐藤慎太郎のSS班4名をはじめとして浅井康太、野原雅也、小倉竜二ら各地から強豪が参戦する超豪華メンバー。地元勢は深谷知広、渡邉雄太、岡村潤らが一丸となって地元Vにまい進する。熾烈なV争いを制するのは果たして誰なのか？

グランプリ3着で昨年を締めくくった郡司浩平は、1月和歌山記念では4連勝を達成していて、今年は最高のスタートを切った。自力攻撃の破壊力には素晴らしいものがあるし、番手戦もそつなくこなすので、とにかく安定感が高い。連の軸としても問題ない。伊東記念では優勝経験がある渡邉雄太だが、当所記念はまだ優勝を手にしていない。最近の動きは悪くないし、南関勢が充実しているここはチャンスだ。

郡司 浩平

対峙する平原康多もさすがの走りを披露している。1月立川記念では二次予選で落車のアクシデントに見舞われたが、同月大宮記念では圧巻の4連勝を達成し、地元ファンの期待に応えている。3年連続9回目となる大宮記念Vの金字塔を打ち立てていて、落車の影響をまったく感じさせなかった。今シリーズの関東勢は上位に自力型が手薄なので、先頭で戦う競走が多くなりそうだ。木暮安由は自力の競走が減っているので、平原と一緒なら前を任せるか。昨年は低空飛行が続いた時期もあったが、後半戦に入り立ち直ってきた。1月大垣[1]②❶着では久しぶりの優勝をゲットしている。

平原 康多

競輪祭で落車した清水裕友は、グランプリは40日の欠場明けだった。レースの組み立てがうまく行かず8番手に置かれて苦戦を強いられたが、まくり上げたスピードは悪くなかった。今年も1月立川記念、同月豊橋記念とまずまずの動きを披露していて、十分に戦える状態にある。タイミングよく仕掛けて主導権を握れば連係実績ある小倉竜二と中四国ワンツーも。

深谷 知広

ベテラン佐藤慎太郎は今年も安定プレーを演じている。1月和歌山記念[3]①②❷着、二次予選で大型新人・吉田有の逃げを差し切ると、準決、決勝は郡司浩にきっちり食い下がった。ここも北日本の自力型は少ないが、たとえ目標不在でも的確なコース選択と鋭い差し脚を発揮しての突っ込みには注意したい。

昨年の浅井康太はSS班復帰は成らずも9月松阪記念を含む6Vを飾った。今年も快速を披露していて、1月立川記念では[1]①②❷着と好走。8分の1輪差で惜しくも優勝は逃がしたものの、連日の動きは申し分なかった。実力はSS班に引けを取らず、好スパートを決めれば勝ち負けに持ち込める。

スピードなら野原雅也も非凡だ。今年はまだ決勝では結果が出ていないものの、1月向日町、同月小田原ともに連勝で決勝に乗っている。

「たちあおい賞争奪戦」in静岡 出場予定選手 ※2022年01月24日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	115.88	S1	小川勇介	福岡	90期	109.43	S2	松尾淳	岐阜	77期	89.28	S2	山田義彦	埼玉	92期	94.87	S2	小林令	山梨	109期	102.63
SS	平原康多	埼玉	87期	120.58	S1	天田裕輝	群馬	91期	105.73	S2	吉村和之	岐阜	80期	98.20	S2	後藤彰仁	岐阜	92期	97.84	S2	大石崇晴	大阪	109期	99.91
SS	郡司浩平	神奈川	99期	118.54	S1	伊原克彦	福井	91期	104.39	S2	稲村好将	群馬	81期	102.11	S2	小谷実	京都	93期	96.00	S2	堀僚介	大阪	109期	97.90
SS	清水裕友	山口	105期	115.73	S1	木暮安由	群馬	92期	111.42	S2	松崎貴久	富山	82期	101.63	S2	坂田章	高知	93期	96.74	S2	池野健太	兵庫	109期	96.44
S1	室井健一	徳島	69期	103.12	S1	片岡迪之	岡山	93期	104.50	S2	小林圭介	茨城	83期	0.00	S2	成松春樹	佐賀	93期	99.22	S2	佐伯辰哉	広島	109期	98.63
S1	村上義弘	京都	73期	110.50	S1	岩本俊介	千葉	94期	111.45	S2	工藤政志	青森	84期	96.95	S2	岡光良	埼玉	94期	101.63	S2	吉田昌司	茨城	111期	95.43
S1	小倉竜二	徳島	77期	112.23	S1	深谷知広	静岡	96期	113.22	S2	川口直人	神奈川	84期	98.26	S2	二藤元太	静岡	95期	103.20	S2	蕗澤鴻太郎	群馬	111期	105.23
S1	齋藤登志信	宮城	80期	111.30	S1	吉澤純平	茨城	101期	110.10	S2	真崎新太郎	栃木	85期	95.80	S2	佐藤博紀	岩手	96期	103.37	S2	小森貴大	福井	111期	105.80
S1	萩原孝之	静岡	80期	105.53	S1	野原雅也	福井	103期	113.09	S2	佐藤悦夫	栃木	86期	95.21	S2	磯田旭	栃木	96期	105.94	S2	小川丈太	徳島	111期	99.17
S1	桑原大志	山口	80期	110.35	S1	渡邉雄太	静岡	105期	111.40	S2	竹内公亮	岐阜	86期	88.73	S2	小川祐司	愛媛	96期	92.82	S2	林慶次郎	福岡	111期	102.22
S1	荒井崇博	佐賀	82期	111.78	S1	小川真太郎	徳島	107期	108.18	S2	中村圭志	熊本	86期	103.65	S2	佐伯翔	福島	97期	101.24	S2	石井洋輝	福島	115期	98.81
S1	笠松信幸	愛知	84期	102.54	S1	末木浩二	山梨	109期	103.54	S2	岡崎景介	広島	87期	93.88	S2	井上嵩	愛知	97期	90.22	S2	鈴木薫	東京	115期	96.29
S1	大槻寛徳	宮城	85期	111.71	S1	小林泰正	群馬	113期	108.27	S2	大屋健司	広島	87期	100.50	S2	角令央奈	兵庫	98期	96.93	S2	原田亮太	千葉	115期	93.89
S1	岡村潤	静岡	86期	108.58	S1	上田尭弥	熊本	113期	108.85	S2	荻原尚人	宮城	89期	102.00	S2	西田大志	福岡	98期	92.13	S2	晝田宗一郎	岡山	115期	103.00
S1	松岡健介	兵庫	87期	107.91	S2	萩原操	三重	51期	94.93	S2	杉山悠也	秋田	89期	102.24	S2	魚屋周成	大分	99期	90.05	S2	坂本紘規	青森	117期	93.10
S1	山崎芳仁	福島	88期	109.45	S2	金子真也	群馬	69期	101.00	S2	山本健也	千葉	89期	94.21	S2	本郷雄三	熊本	99期	101.00	S2	櫻井祐太郎	宮城	117期	100.22
S1	渡部幸訓	福島	89期	110.95	S2	眞原健一	神奈川	69期	96.91	S2	橋本勝弘	愛媛	89期	92.88	S2	保科千春	宮城	100期	94.27	S2	佐々木眞也	神奈川	117期	98.64
S1	内藤秀久	神奈川	89期	110.79	S2	前田拓也	大阪	71期	0.00	S2	竹澤浩司	富山	90期	94.00	S2	伊東翔貴	福島	100期	101.50	S2	鈴木陸来	静岡	117期	103.38
S1	芦澤大輔	茨城	90期	109.35	S2	江守昇	千葉	73期	101.44	S2	安東宏高	大分	90期	95.43	S2	関根健太郎	神奈川	100期	95.15	S2	土生敦弘	大阪	117期	103.30
S1	田中晴基	千葉	90期	109.19	S2	渡邉晴智	静岡	73期	100.00	S2	矢野昌彦	栃木	91期	93.03	S2	山本直	岡山	101期	102.58	S2	伊藤旭	熊本	117期	104.08
S1	浅井康太	三重	90期	116.90	S2	中曽直彦	千葉	74期	91.61	S2	内田英介	東京	91期	96.50	S2	磯島康祐	青森	105期	100.20					
S1	山中貴雄	高知	90期	106.55	S2	法月成祐	神奈川	77期	90.27	S2	桑原亮	福岡	91期	98.67	S2	伊藤慶太郎	埼玉	107期	99.83					